

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワークの理論と方法(社会) Ⅱ (DB308)			担当教員	梅野 潤子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>社会福祉士に求められる専門力の向上を中心に取り組み、ソーシャルワークにおいて求められる各種理論及び方法に関する知識の習得を目指す。</p> <p>具体的には、ソーシャルワークの対象、社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するためより実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法、社会資源の活用の意義を踏まえ地域における社会資源の開発やソーシャルアクション、個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための事例分析の意義や方法を理解することをねらいとする。その中で、枠組みに沿って実習体験について整理しながら、ソーシャルワークに関して残っている疑問点をなくしていく。</p>							①④⑤ ⑦⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ソーシャルワークに関する理論及び方法について説明できる。 ソーシャルワークに関する基礎的な用語・概念を理解できる。				定期試験 作問課題	20% 30%	
情報収集、分析力	ソーシャルワークに関する基礎的な用語・概念を整理できる。				定期試験	10%	
コミュニケーション力	ソーシャルワークについて自分の言葉で表現できる。				定期試験	20%	
協働・課題解決力	ソーシャルワークに関する事例に取り組むことができる。				定期試験	20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験(70%)では、ソーシャルワークに関する知識の習得度を評価する(持ち込み不可;再試験を受ける場合に必ず事前に教員に相談すること)。毎回の課題(30%)では、学んだ用語・概念の理解度を国家試験形式で学生が作問を作成することで、専門用語について自分で適切に表現できるかを評価する。必要に応じて、ポートフォリオ上と授業内でフィードバックを行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等)は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>基本的には講義形式で授業を進めるが、理解を深めるためのグループワークとレスポンスを使った社会福祉士国家試験の過去問題も頻繁に取り入れる。ソーシャルワークの対象から出発し、社会資源の活用・調整・開発、ネットワークの形成、ソーシャルワークに関連する方法、カンファレンス、事例分析、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際について学ぶ。「ソーシャルワークとは何か」という根本的な問いを常に意識し、教員のMSW及び社会福祉士としての実務経験を基に、ソーシャルワーク特有の人間観と援助観を身につける。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟編(2021)『最新・社会福祉士養成講座〈6〉ソーシャルワークの理論と方法[社会専門]』中央法規出版。</p> <p>参考書：北島英治(2008)『ソーシャルワーク論』ミネルヴァ書房。</p> <p>指定図書：山下英三郎(2006)『相談援助』学苑社。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>社会福祉士国家試験受験資格の指定科目であるため、国家試験を意識すること。講義を軸にしながら、予習・復習の一環として教科書を事前・事後に確認し、専門書を読む習慣を身につけるなど、抽象度及び専門性の高い内容に対する理解を深められるように努力すること。</p> <p>なお、本科目専用のノートはもちろん、聞き慣れない専門用語について自分にとって分かりやすい言葉で記入する単語帳を導入することを強く勧める。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	科目全体の説明を経て、学修目標となる国家試験内容を確認する。 作問課題①	予習：関連科目の復習 復習：シラバスの熟読
2	ソーシャルワークの対象	ソーシャルワークの対象の概念と範囲について学ぶ。 作問課題②	予習：教科書 2 頁 復習：学修目標について理解する
3	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発①	社会資源の概念と活用について学ぶ。 作問課題③	予習：教科 45 頁 復習：社会資源に関する疑問点の整理
4	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発②	社会資源の開発とソーシャルアクションについて学ぶ。 作問課題④	予習：教科書 58 頁 復習：社会資源に関する疑問点の整理
5	ネットワークの形成①	コーディネーションについて学ぶ。 作問課題⑤	予習：教科書 120 頁 復習：コーディネーションについての疑問点の整理
6	ネットワークの形成②	ネットワーキングの概要とソーシャルサポートネットワークについて学ぶ。 作問課題⑥	予習：教科書 143 頁 復習：ネットワーキングについての「疑問点の整理
7	ネットワークの形成③	ネットワーキングの国内動向について学ぶ。 作問課題⑦	予習：教科書 152 頁 復習：サポートネットについての疑問点の整理
8	ソーシャルワークに関連する方法①	ネゴシエーションとファシリテーションについて学ぶ。 作問課題⑧	予習：教科書 252・277 頁 復習：SW の方法に関する疑問点の整理
9	ソーシャルワークに関連する方法②	プレゼンテーションについて学ぶ（プレゼンテーション演習を含む）。 作問課題⑨	予習：教科書 288 頁 復習：プレゼンに関する疑問点の整理
10	カンファレンス	ケースカンファレンスについて学ぶ。 作問課題⑩	予習：教科書 190 頁 復習：カンファレンスに関する疑問点の整理
11	事例分析①	事例研究の概念と手法について学ぶ。 作問課題⑪	予習：教科書 222 頁 復習：事例研究に関する疑問点の整理
12	事例分析②	事例分析と事例発表の手順について学ぶ。 作問課題⑫	予習：教科書 235 頁 復習：事例発表の手順に関する疑問点の準備
13	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際①	総合的かつ包括的な支援と家族支援の事例について学ぶ（過去問題演習を含む）。 作問課題⑬	予習：教科書 4 頁 復習：過去問題演習についての疑問点の整理
14	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際②	地域支援と非常時や災害時支援の事例について学ぶ（過去問題演習を含む）。 作問課題⑭	予習：教科書 69 頁 復習：半期の振り返り
15	まとめ	受講者自身により半期の振り返りを通して全体まとめを行う。 作問課題⑮	予習： 疑問点の整理 復習：定期試験の準備
16	定期試験		